

## 1. 議事

### (1) 金剛地区まちづくり会議の組織体制について

#### 金剛地区まちづくり会議(全体会)について

#### 金剛地区まちづくり会議(全体会)

前回協議会で報告

5/19  
第1回



6/29  
第2回



10/6  
第3回



2/1  
第4回



3/14  
第5回

※開催中止

11/13  
前回協議会

前回協議会での報告内容の振り返り

<第1回(全体会)> 5/19  
<第2回(全体会)> 6/29

ワークショップ等を踏まえて

今年度から取り組んでいく  
新しいテーマが3つ立ち上がる！

参加者自身が取り  
組みたいことを抽出  
してテーマを決定

新たに生まれた3つのテーマ

拠点づくり

情報発信

総合まちづくり

<7~9月>

それぞれのテーマに沿って、プロジェクト  
実現に向けた検討会議が進められる

<第3回(全体会)> 10/6

プロジェクト実現に向けた検討会議の進捗  
状況や今後の検討内容について報告

「拠点づくり&情報発信部会」

「総合まちづくり部会」

の2つの部会が新たに発足！

※「自主運営」「自主活動」を原則に  
活動を展開しつつある。

4つの既存部会について…

既存部会も「自主運営」「自主活動」を目  
指して、「具体的な活動内容の整理」、  
「代表者の選出」、「連絡体制の構築」等  
について議論していく必要がある。

※11、12月を目途に会議を開催予定  
○公園活用部会 ○居場所づくり部会  
○防災活動部会 ○イベント企画部会

前回協議会での報告内容の振り返り

金剛地区まちづくり会議

新たな部会

総合まちづくり部会

拠点づくり&情報発信部会

※「自主運営」、「自主活動」を原則に  
活動を展開しつつある

既存の部会

居場所づくり部会

イベント企画部会

公園活用部会

防災活動部会

※今後、具体的な活動内容の整理や  
その為の組織体制づくりが必要

## <既存部会の会議開催状況について>

### イベント企画部会 11/20

- ・会議参加者は**1名**。
- ・イベントは定期的開催されており、担い手となるメンバーが必要。
- ・引き続き、部会メンバーを募り、組織づくりを進める。

### 公園活用部会 12/21

- ・会議参加者は少人数。
- ・取り組み内容が重複していることから、**総合まちづくり部会と統合**。

### 居場所づくり部会 11/22

- ・個別プロジェクトが活発に動いているので、当面は**部会としての組織づくりは不要**。
- ・拠点づくり&情報発信部会は、居場所づくり部会の一プロジェクトとして位置付ける。

### 防災活動部会 12/21

- ・会議参加者が少なく、部会としての会議は成立しなかった。
- ・メンバー、代表者、活動の方向性が定められないため、**部会としての存続が難しい**。

会議の結果としては、参加者が少数であったり、組織づくりは不要という意見が出たり、**全体的に部会存続が難しい状況**である。

「部会」という枠は必要ないのではないか？

しかし、この**4つのテーマはまちづくり会議で取り組んでいくべきもの**として、設立当初より、参加者の声を基に話し合いの中で決定し、これまで掲げてきたものであり、**必要なテーマ**である。

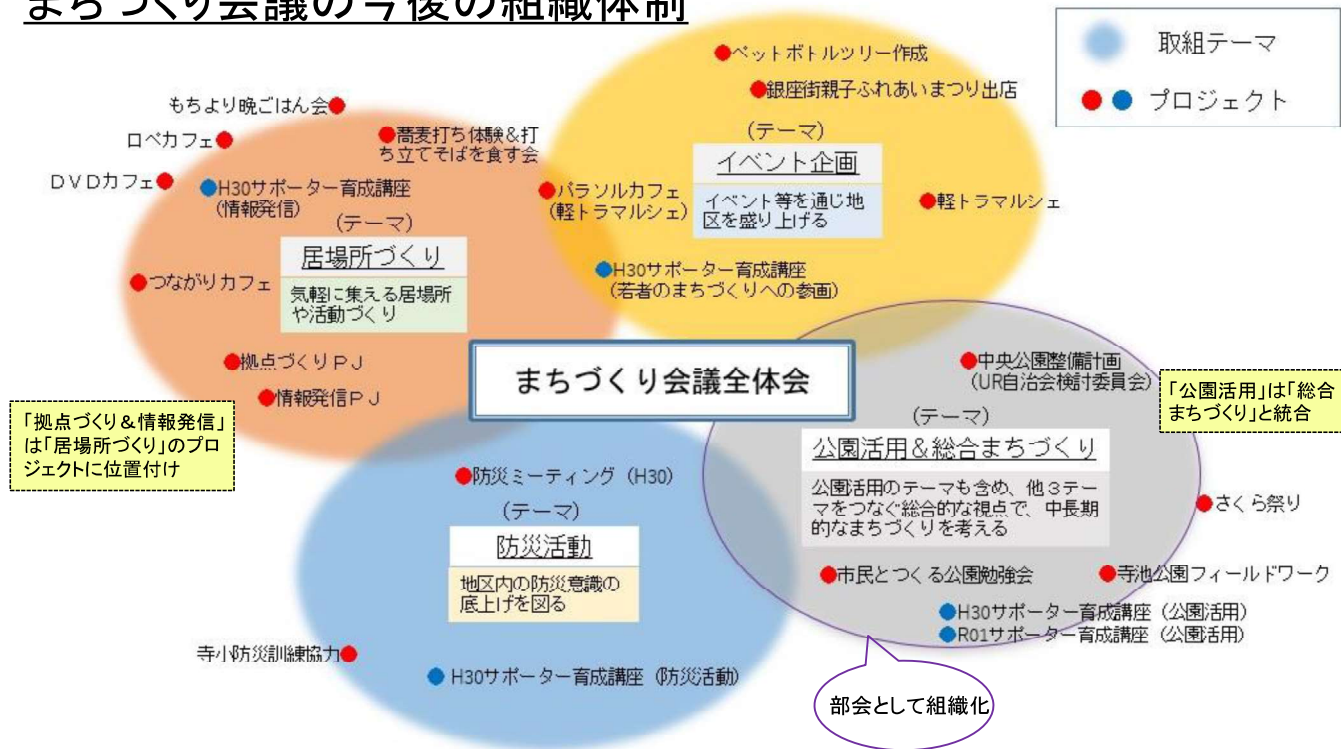
## 今後の組織体制について

- ・現在の部会は無理に組織化を図らず、「**取組テーマ**」のみ存続させる。
  - ➡「公園活用」は「総合まちづくり」と統合。
  - ➡「拠点づくり&情報発信」は「居場所づくり」のプロジェクトに位置付け。
- ・テーマに沿った取組として各プロジェクトを進める。
- ・必要となった際には、テーマごとに部会として組織することができる。
  - ➡「公園活用&総合まちづくり」のテーマにのみ部会が設置されている。
- ・取組テーマは、全体会での検討を踏まえ、いつでも新たに増やすことができる。

現在の金剛地区まちづくり会議は・・・

- ・新たなつながりや取組(プロジェクト)が生まれる場、仲間をみつける場(プラットフォーム)として、**まちづくり会議(全体会)**を定期的開催している。
- ・その中で現在は、**4つの取組テーマ**(居場所づくり、防災活動、イベント企画、公園活用&総合まちづくり)に沿った**複数のプロジェクト**が進められている。

## まちづくり会議の今後の組織体制



部会を中心とした組織体制から、プロジェクトを核とした組織体制に。

## 今後のまちづくり会議(全体会)の運営について

今年度、自主活動、自主運営が出来つつあるプロジェクト等が誕生してきた中、まちづくり会議の参加者が主体となって会議を運営し、各プロジェクト間の情報共有や調整・支援機能を担っていくことを目指す。

### 【現状】

全体会の開催において、市が開催日・議題を決定、会場準備、開催案内送付、当日会議の進行などの全般を担っている。

ゆるやかな組織体制を基本とするが、会議の進行、会計、書記、広報等は分担して担える体制づくりを進める。

### ＜今後目指すべき方向性＞

- ① 当面の間、事務局機能は、市(一部業務委託予定)が担うものの、今後は、早期に全体会における事務局機能の確立を目指す。
- ② 全体会として、一定の運営予算を獲得し、各プロジェクトへの支援体制(予算配分等)を確立する。
- ③ 市は、一定の予算確保を含め、必要に応じて運営等に協力・助言する。

市が行う事務局機能の支援や、一定の予算確保は令和3年度までと考えています。

※来年度は、これらを目指して運営体制について議論していく。